



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 リョーサン

上場取引所 東

コード番号 8140 URL <http://www.ryosan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 栗原 宏幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 財経本部長 (氏名) 西浦 政秀

TEL 03-3862-2591

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	123,629	21.3	3,224	71.8	3,191	36.0	2,227	30.7
29年3月期第2四半期	101,884	12.7	1,877	34.0	2,345	11.8	1,703	7.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,898百万円 (%) 29年3月期第2四半期 695百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	82.66	
29年3月期第2四半期	58.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	161,712	95,866	59.3	3,869.80
29年3月期	161,620	109,519	67.8	3,897.82

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 95,866百万円 29年3月期 109,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		70.00		70.00	140.00
30年3月期		75.00			
30年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当金45円 特別配当25円

平成29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金45円 特別配当25円

平成30年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当金50円 特別配当25円

平成30年3月期 期末配当金の内訳(予想) 普通配当金50円 特別配当25円以上

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	10.1	5,800	24.5	5,700	17.9	4,100	21.7	158.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	28,500,000 株	29年3月期	31,500,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	3,727,098 株	29年3月期	3,402,428 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	26,940,644 株	29年3月期2Q	29,309,292 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①全体の概況

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)における世界経済は、米国では自動車販売に伸び悩みが見られたものの自律的な成長を維持し、欧州においては堅調な景気拡大が続き、中国を始めとする新興国も底堅く推移しました。日本においても個人消費の持ち直しの動きが継続し、企業収益は改善するなど、全体としては緩やかな成長が続きました。

エレクトロニクス業界においては、PC・タブレット市場の縮小トレンドが続いたものの、スマートフォン、自動車やFA機器向けは引き続き堅調に推移しました。

このような情勢下で、当社グループは、2017年度を第9次中期経営計画(2014～2017年度)の最終年度と位置付け、その基本姿勢に「変革」と「成長」を掲げ、事業構造の変化に対応した「ビジネスモデルの転換」と持続可能な「自律的成長」を追求してまいりました。そして、この基本姿勢を具現化するために、「成長路線の再構築」と「資本効率の向上」に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,236億29百万円(前年同期比21.3%増)、営業利益は32億24百万円(前年同期比71.8%増)、経常利益は31億91百万円(前年同期比36.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億27百万円(前年同期比30.7%増)となりました。

②セグメントの業績概況

イ. 半導体事業

メモリ、システムLSI、個別半導体の販売並びにシステムLSIの受託開発を行っております。当第2四半期連結累計期間は、車載、FA機器が好調に推移したことに加え、情報通信向けビジネスの販売増もあり、売上高は720億60百万円(前年同期比22.5%増)、営業利益は18億28百万円(前年同期比68.6%増)となりました。

ロ. 電子部品事業

表示デバイス、電源、機構部品を販売しております。当第2四半期連結累計期間は、コンシューマ、車載、FA機器向けビジネスが好調に推移し、売上高は395億31百万円(前年同期比22.2%増)、営業利益は13億22百万円(前年同期比61.5%増)となりました。

ハ. 電子機器事業

システム機器、設備機器を販売しております。当第2四半期連結累計期間は、大口の車載向けビジネスの採り込みにより、売上高は120億37百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は収益性の低下に伴い、2億72百万円(前年同期比13.8%減)となりました。

(2) ①財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて91百万円増加し、1,617億12百万円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ136億53百万円減少して958億66百万円となり、自己資本比率は59.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて232億10百万円減少し、154億82百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が31億94百万円あったものの、たな卸資産及び売上債権がそれぞれ99億41百万円、86億50百万円増加したため、全体で158億96百万円の資金の減少となりました。なお前年同四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは24億47百万円の資金の増加でした。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等により、全体で6億25百万円の資金の増加となりました。なお前年同四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは62百万円の資金の増加でした。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金が85億84百万円増加したものの、自己株式の取得による支出が145億84百万円あったため、全体で80億56百万円の資金の減少となりました。なお前年同四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは54億91百万円の資金の減少でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①平成30年3月期の連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、平成30年3月期の連結業績予想数値を下記の通り修正いたします。なお、今回の業績予想の修正による配当予想の修正はありません。

(連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	230,000	5,600	5,600	4,000	142.36
今回修正予想(B)	240,000	5,800	5,700	4,100	158.55
増減額(B-A)	10,000	200	100	100	—
増減率(%)	4.3	3.6	1.8	2.5	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	218,003	4,659	4,833	3,367	116.54

②事業の種類別セグメントの業績見通し

イ. 半導体事業

車載、FA機器、情報通信向けビジネスが引き続き好調に推移することが見込まれ、売上高は1,380億円(前期比10.1%増)、営業利益は32億50百万円(前期比30.6%増)を予想しております。

ロ. 電子部品事業

コンシューマ、車載、FA機器向けビジネスが引き続き好調に推移することが見込まれ、売上高は760億円(前期比9.9%増)、営業利益は24億50百万円(前期比25.9%増)を予想しております。

ハ. 電子機器事業

大口車載向けビジネスが引き続き牽引し、売上高は260億円(前期比10.5%増)、営業利益は収益性低下に伴い、6億円(前期比13.6%減)を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,845	13,635
受取手形及び売掛金	68,499	77,447
有価証券	300	2,000
たな卸資産	27,766	37,953
未収入金	6,974	11,291
繰延税金資産	348	452
その他	205	233
貸倒引当金	△64	△82
流動資産合計	142,876	142,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,398	3,371
土地	6,428	6,428
リース資産(純額)	539	619
その他(純額)	158	142
有形固定資産合計	10,525	10,562
無形固定資産		
無形固定資産	1,110	1,017
投資その他の資産		
投資有価証券	4,983	4,931
繰延税金資産	163	163
その他	2,095	2,241
貸倒引当金	△136	△136
投資その他の資産合計	7,107	7,200
固定資産合計	18,743	18,779
資産合計	161,620	161,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,458	38,176
短期借入金	11,419	20,146
リース債務	148	167
未払金	1,499	1,697
未払費用	1,047	1,227
未払法人税等	390	997
その他	131	169
流動負債合計	49,095	62,583
固定負債		
リース債務	450	520
繰延税金負債	505	746
退職給付に係る負債	1,890	1,834
資産除去債務	34	34
その他	125	126
固定負債合計	3,005	3,262
負債合計	52,101	65,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,690	17,690
資本剰余金	19,114	19,114
利益剰余金	81,219	72,344
自己株式	△10,498	△15,948
株主資本合計	107,525	93,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,540	1,862
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	416	774
退職給付に係る調整累計額	36	27
その他の包括利益累計額合計	1,993	2,664
純資産合計	109,519	95,866
負債純資産合計	161,620	161,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	101,884	123,629
売上原価	93,291	113,143
売上総利益	8,592	10,486
販売費及び一般管理費	6,715	7,262
営業利益	1,877	3,224
営業外収益		
受取利息	28	21
受取配当金	40	39
為替差益	382	39
受取賃貸料	16	15
雑収入	80	47
営業外収益合計	547	164
営業外費用		
支払利息	62	154
自己株式取得費用	5	28
雑損失	10	13
営業外費用合計	78	196
経常利益	2,345	3,191
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	2,345	3,194
法人税等	642	967
四半期純利益	1,703	2,227
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,703	2,227

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,703	2,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△248	321
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	△2,146	358
退職給付に係る調整額	△7	△8
その他の包括利益合計	△2,398	671
四半期包括利益	△695	2,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△695	2,898

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,345	3,194
減価償却費	291	304
貸倒引当金の増減額(△は減少)	27	18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21	△56
受取利息及び受取配当金	△68	△61
支払利息	62	154
売上債権の増減額(△は増加)	△624	△8,650
たな卸資産の増減額(△は増加)	△319	△9,941
仕入債務の増減額(△は減少)	3,992	3,528
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3
未収入金の増減額(△は増加)	△2,180	△4,284
その他	13	150
小計	3,520	△15,645
利息及び配当金の受取額	66	71
利息の支払額	△64	△153
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,074	△168
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,447	△15,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42	△58
有形固定資産の売却による収入	62	—
無形固定資産の取得による支出	△177	△19
関係会社株式の取得による支出	—	△200
投資有価証券の売却による収入	—	1,003
出資金の払込による支出	—	△8
保険積立金の積立による支出	△91	△91
保険積立金の解約による収入	312	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	62	625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△647	8,584
リース債務の返済による支出	△123	△90
自己株式の取得による支出	△1,928	△14,584
配当金の支払額	△2,791	△1,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,491	△8,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,108	117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,088	△23,210
現金及び現金同等物の期首残高	50,768	38,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,679	15,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 自己株式の取得

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,324,400株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が14,583百万円増加しております。

II 自己株式の消却

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月31日付けで、自己株式3,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ9,134百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結損益計算書計上額 (注)2
	半導体 事業	電子部品 事業	電子機器 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	58,841	32,352	10,690	101,884	—	101,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	58,841	32,352	10,690	101,884	—	101,884
セグメント利益	1,084	818	316	2,219	△342	1,877

(注)1. セグメント利益の調整額△342百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結損益計算書計上額 (注)2
	半導体 事業	電子部品 事業	電子機器 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	72,060	39,531	12,037	123,629	—	123,629
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	72,060	39,531	12,037	123,629	—	123,629
セグメント利益	1,828	1,322	272	3,423	△199	3,224

(注)1. セグメント利益の調整額△199百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 所在地別セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	日 本	アジア	その他	計	消去又は は全社	連 結
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	61,010	37,249	3,624	101,884	—	101,884
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,303	205	2	5,512	△5,512	—
計	66,314	37,454	3,627	107,396	△5,512	101,884
セグメント利益	635	1,033	130	1,798	78	1,877

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア …… 香港・タイ・中国・韓国等

その他 …… 米国等

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	日 本	アジア	その他	計	消去又は は全社	連 結
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	75,460	43,906	4,262	123,629	—	123,629
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8,869	74	3	8,947	△8,947	—
計	84,330	43,981	4,265	132,577	△8,947	123,629
セグメント利益	1,370	1,563	115	3,049	174	3,224

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア …… 香港・タイ・中国・韓国等

その他 …… 米国等

Ⅲ 地域ごとの売上高に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	61,312	18,575	18,341	3,654	101,884
連結売上高に占める割合(%)	60.2	18.2	18.0	3.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	70,990	26,654	21,675	4,309	123,629
連結売上高に占める割合(%)	57.4	21.6	17.5	3.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。